

G1-2026-

農 学

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 解答時間は **1 時間**です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

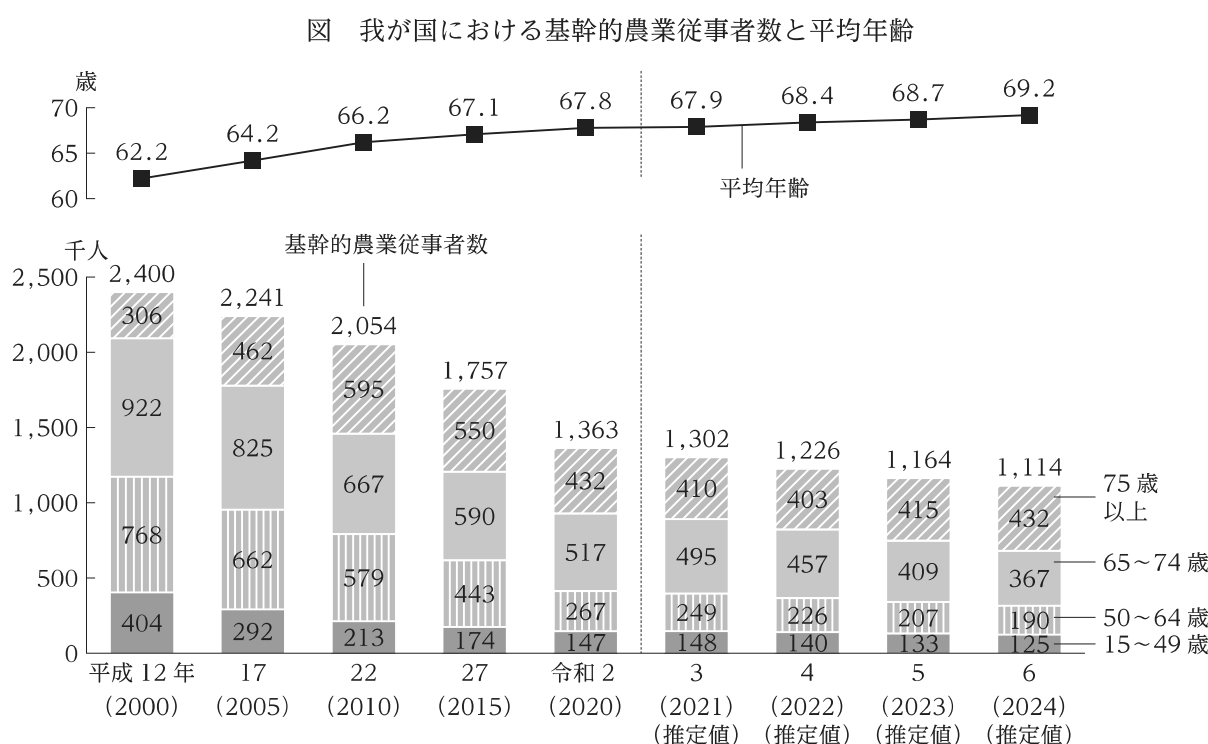
第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	農 学		

指示があるまで中を開いてはいけません。

図は、我が国における基幹的農業従事者数と平均年齢を示したものである。この図を踏まえ、我が国の農業が抱える課題について挙げなさい。また、あなたが我が国の農政担当行政官であると仮定した場合、課題解決に向け、どのような技術的な対応策を推進・普及することが重要と考えるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

ただし、解答に当たっては、①我が国の農業が抱える課題、②課題への技術的な対応策、③その推進・普及方法を記載することとし、農地の集約化及び大区画化などの基盤整備がされていることを前提とする。

なお、解答は現在の政府が講じている施策に合致するものでなくとも差し支えない。また、稲や園芸作物、畜産などの個別の品目に絞った解答をしてもよいこととする。



資料：農林水産省「2000 年世界農林業センサス」、「2005 年農林業センサス」、「2010 年世界農林業センサス」(組替集計)、「2015 年農林業センサス」(組替集計)、「2020 年農林業センサス」、「農業構造動態調査」を基に作成

- 注：1) 各年 2 月 1 日時点の数値。ただし、平成 12(2000)年及び平成 17(2005)年の沖縄県については前年 12 月 1 日時点の数値
- 2) 平成 12(2000)年及び平成 17(2005)年については販売農家の数値
- 3) 令和 3(2021)～6(2024)年については、農業構造動態調査の結果であり、標本調査により把握した推定値